

令和元年度病害虫発生予察注意報第2号

令和元年5月31日
愛 知 県

作物名：カンキツ

病害虫名：ミカンハダニ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 予想発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 5月下旬に行った巡回調査において、寄生葉率が11.7%（平年2.6%、前年6.2%）、発生ほ場率は59.1%（平年23.7%、前年40.9%）で、寄生葉率、発生ほ場率ともに過去10年と比較して最も高かった。
- (2) 5月30日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、6月の気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ないと予想されており、本種の増殖に適した気象条件となることが見込まれる。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本種は発生密度が高くなると防除が困難になるため、密度が高まる前に防除を実施する。
- (2) 農薬は葉裏にも十分薬液がかかるように散布する。
- (3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、表を参考にIRACコードが同じ薬剤を連続して使用することは避ける。
- (4) 本種には、カブリダニ類などの土着天敵が多い。合成ピレスロイド系（IRACコード：3A）や有機リン系（IRACコード：1B）の殺虫剤は土着天敵に影響が大きい。現在、カンキツにおいて、チャノキイロアザミウマの発生量も多く（令和元年度病害虫発生予察注意報第3号）、チャノキイロアザミウマの防除に上記の農薬を散布した場合は、散布後の本種の発生状況に注意する。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471

表 かんきつのミカンハダニに対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数	IRACコード
アタックオイル	4～10月	100～400倍	-	未記載(マシン油)
トモノールS	夏期	100～200倍	-	未記載(マシン油)
ハーベストオイル	夏期(6月～7月中旬)	150～200倍	-	未記載(マシン油)
ダニカット乳剤20	収穫60日前まで (みかんは収穫14日前まで)	1000～1500倍	1回	19
カネマイトフロアブル	収穫7日前まで	1000～1500倍	1回	20B
コロマイト水和剤	収穫7日前まで	2000倍	2回以内	6
ダニエモンフロアブル	収穫7日前まで	4000～6000倍	1回	23
マイトコーネフロアブル	収穫7日前まで	1000～1500倍	1回	20D

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は https://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2018/mechanism_irac02.pdf を参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。